

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP2 DP4		
	老年看護学			担当教員	外部講師		
	老年看護学方法論						
履修学年	2年	履修学期	前期	単位数	2	時間数	32
授業目標	<p>1. 老年期に起こりやすい症状、疾患を理解し、高齢者の「持てる力」を活かして、その人が望む生活に近づくための看護を理解できる。</p> <p>2. 認知症をもつ高齢者が抱える生活の困難さ、身体的・精神的・社会的苦痛を理解し、暮らしの継続性を取り入れた療養環境づくりや家族へのサポートシステムの必要性について理解できる。</p>						
回	学習内容				方法	担当教員	
1 2 3 4	<p>1) 摂食嚥下障害がある高齢者の看護</p> <p>(1) 低栄養 ①口からおいしく食べ続けるため支援 ②サルコペニアを予防し、栄養状態を改善する支援</p> <p>(2) 誤嚥性肺炎 ①口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーション ②嚥下を容易にするための姿勢保持</p> <p>(3) 事例展開 活動のために必要なエネルギーを安全に摂取できるための援助</p>				講義 演習	外部講師	
5 6 7	<p>2) 排泄障害がある高齢者の看護</p> <p>(1) 尿失禁、排尿障害 : 排尿の問題に対応した援助</p> <p>(2) 便秘、下痢 : 便秘や下痢が改善し適切な食事がとれ、 普段の活動ができる支援</p> <p>(3) 事例展開 : 尿・便失禁の改善を目標とし、その人の尊厳が守られ、 生活の質が低下しないための援助</p>				講義 演習		
8	3) 認知症をもつ高齢者の看護				講義		
9	4) 認知症高齢者をもつ家族の看護				講義		
10 11 12 13 14 15	<p>5) 高齢者の人権を尊重し、「生きている」を支える パフォーマンス課題 : 「認知症患者に必要な日常生活援助」</p> <p>日常生活自立度 IIIa、食事がうまくできない、失禁がある、 不潔行為がある、更衣がうまくできない、徘徊の対象となる 高齢者の援助を考える →グループワーク(発表)</p>				講義 演習		
16	試験				試験		
評価規準 評価方法	パフォーマンス課題・筆記試験 100点						
テキストおよび 参考文献	<p>専門分野 老年看護学(医学書院)</p> <p>専門分野 老年看護 病態・疾患(医学書院)</p>						
履修上の 注意点							